

Combi

コンビ チャイルドシート ブオンキッズEG

2000/01
UNIVERSAL (汎用型)
15-36kg

自

C-2064

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、記載された内容に従い正しくお使いください。

66ページの品質保証書の欄に、必要事項をご記入ください。

本書は、座席部側面のポケットに保管してください。(11ページ参照)



お使いいただく前に

車に取り付ける前に

チャイルドモードの
使いかた

ジュニアモードの
使いかた

ブースターモードの
使いかた

お手入れ

お使いいただく前に




このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

またチャイルドシートを使用するときには、必ず保護者の方が同乗してください。

本書で示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。




表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方が幼児ベルトもしくはシートベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

お子さまの成長に合わせて 3つのモードでお使いいただけます

お使いいただく前に

モード	チャイルドモード	ジュニアモード	ブースターモード
使用状態			
体重条件	9kg以上18kg以下	15kg以上25kg以下	22kg以上36kg以下
身長目安	75～105cm	95～125cm	115～145cm
参考年齢	12カ月頃～4才頃	3才頃～7才頃	6才頃～11才頃
使用方法	シートベルトで座席に固定し、幼児ベルトを使用	ベースをはずし、車のシートベルトで直接お子さまをホールド	さらに背もたれをはずし、座面のみを使用



「身長目安」および「参考年齢」は、あくまでも目安です。

身長や年齢が上記を満たしていても、「**体重条件**」を満たしていないお子さまは、そのモードでは使用しないでください。

目次

お使いいただく前に

お使いいただく前に	1
お子さまの成長に合わせて3つのモードでお使いいただけます	2
取り付けできない座席	4
シートベルトの種類と使用上の注意点	6
安全にお使いいただくために	7

車に取り付ける前に

各部のなまえ	11
おもな機能と基本操作	15
リクライニングの使いかた	16
サイドサポートの使いかた	17
幼児ベルトの長さ調節	18
幼児ベルトの高さ調節	20
座席部とベースのはずしかた	22
座席部とベースの取り付けかた	25

チャイルドモードの使いかた

チャイルドモードの取り扱い手順	31
チャイルドモードでのご注意	32
取り付けかた ①	33
取り付けかた ②	36
シートベルトの増し締め	38
バックル側ベルトが長いとき	39
より確実に固定する方法	40

クリップの使いかた	41
取り付け完了チェック	42
取りはずし手順	43
お子さまの座らせかた	45
幼児ベルトの高さ調節	48
幼児ベルトの長さ調節	49
座らせた後のチェック	50

ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードでのご注意	51
肩ベルトガイドの高さ調節	52
お子さまを座らせる前の準備	53
お子さまの座らせかた	54
ジュニアモードの完了チェック	55

ブースターモードの使いかた

ブースターモードでのご注意	56
お子さまを座らせる前の準備	57
お子さまの座らせかた	58
ブースターモードの完了チェック	59

お手入れ

お手入れのしかた	60
製品仕様	65
品質保証書	66
角度チェッカー	裏表紙

取り付けできない座席



危険

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

シートベルトの付いていない座席。

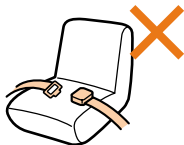


シートベルトの取り付け幅が**32cm未満**の場合。
シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。



32cm未満

2点式シートベルトの座席。

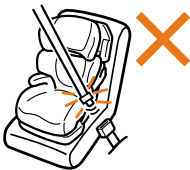


パッシブシートベルトの付いた座席。

パッシブシートベルトとは...車の座席に座ってドアを開めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車に多くみられます。(オートマチックシートベルト)



シートベルトの長さが**極端に短い**座席。

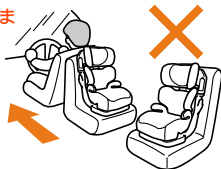


エアバッグ装備の座席。
...サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



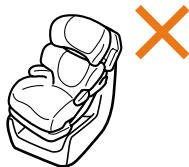
取り付けできない座席

進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

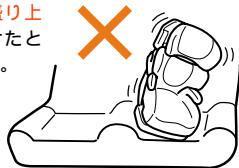


極端なバケットシート。

... 座面の中央が深くへこんでいる座席。



座席の中央が極端に盛り上がっていて、取り付けたときに不安定になる座席。



ヘッドレストが極端に出っぱっている座席。

ヘッドレストが取りはずし式の場合は、取りはずすことで支障がなくなればその座席でも取り付けできます。



座面の奥行きが40cm未満の座席。



危険

上記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には、使用しないでください。

シートベルトの種類と使用上の注意点

本製品は、シートベルトの種類により使いかたが異なったり、使用できない場合があります。



危険

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

3点式シート
ベルトとは



2点式シート
ベルトとは



車のシートベルトの種類 (シートベルトの方式)	特徴 (見分け方)	チャイルドモード	ジュニアモード ブースターモード
ELR付きシートベルト (緊急ロック式ベルト 巻き取り装置付き)	ゆっくり引くと自由に 出入りし、勢いよく引 くとロックする。	本製品のロック機構で固 定してください。	使用できます。
チャイルドシート固 定機能付きベルト (AELR付きシートベ ルト)	ベルトをすべて引き出 した後で巻き戻すと自 動的に締まり、それ以 上伸びなくなる。(ベ ルトをすべて巻き戻す と解除される)	本製品のロック機構によ り固定した上で、シー トベルトをすべて引き出 した後、ベルトを戻し、 チャイルドシート固定機 能を効かせてください。	シートベルトをすべて 引き出すと危険です。 シートベルトを一度戻 して、チャイルドシー ト固定機能を解除して ください。
マニュアル式 シートベルト	巻き取り装置の付いて いないシートベルト。		
NLR付き シートベルト	ロック機能のない巻き 取り装置付きシートベ ルト。	チャイルドシートに合わ せてベルトの長さを調節 し、本製品のロック機構 により固定してくださ い。	チャイルドシートに合 わせてベルトの長さを 調節してください。
ALR付き シートベルト	ベルトを引き出す途中 で止めるとロックさ れ、それ以上引き出せ なくなる。		

安全にお使いいただくために

⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

使用条件に**適合しないお子さま・座席**などでは、使用しないでください。



シートベルトや座席の条件などにより、**取扱説明書どおり**にしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



車に取り付けるときは、必ず**車のシートベルトで固定**してください。ひもなど、シートベルト以外のもの**で固定しないでください**。



お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり、中腰**になったり、**正座**をしないように注意してください。



チャイルドモードでは、**幼児ベルト**が正しく装着され、左右の**差込タンク**がしっかりバックルに差し込まれ、**表示が緑色**に変わっていることを確認してください。

エアバッグが装着された座席では、**使用しないでください**。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

...**サイドエアバッグ**のみの場合には使用できます。



ジュニアモード、ブースターモードでご使用になるときには、**シートベルトが正しい位置に調節**されていることを確認してください。



警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



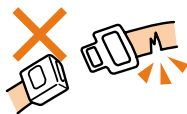
チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、ジュニアモード、ブースターモードで取り付けるときは固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。



幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。



バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。



安全にお使いいただくために

警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

チャイルドモードの際、お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。ときどき、**差込タンクがバックルからはずれていないことを確認**してください。



お子さまを車内に1人で放置しないでください。日ざしの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者の方が同乗してください。

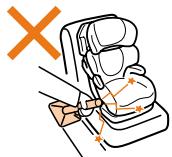


次のような使いかたは、同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

お子さまがチャイルドシートに乗っていないときでも、シートベルトで固定しておいてください。車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。

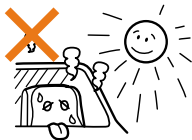


2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



⚠️ 注意

直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、**やけどをするおそれ**があります。各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



走行中は、チャイルドシートの操作や**調節をしない**てください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートを操作しないようにしてください。



通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。本来の目的以外には使用しないでください。



チャイルドシートを**車のシート可動部やドアにはさまないように**、十分注意してください。

風雨にさらさないてください。

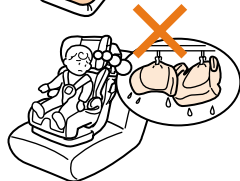
チャイルドシートを**改造しない**てください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



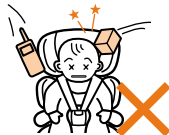
車の座席にクッションや**座布団などを敷いたまま、取り付けない**てください。しっかり固定されません。



シートクッションなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は**はずしたまま使用しない**てください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)



固定されていない物を車内に置かないてください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たる可能性があります。

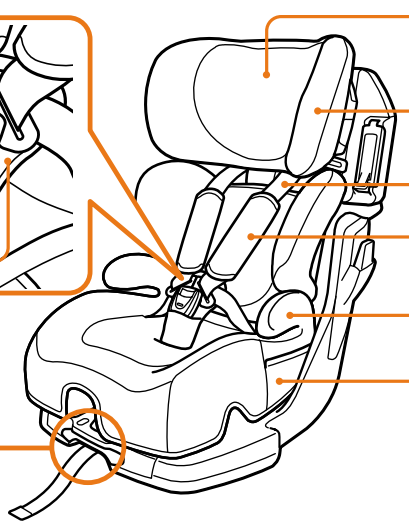
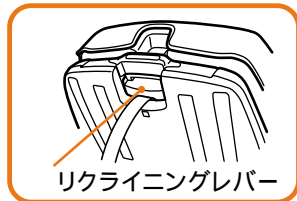


各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

本体 正面

車に取り付ける前に



ヘッドレスト

サイドサポート

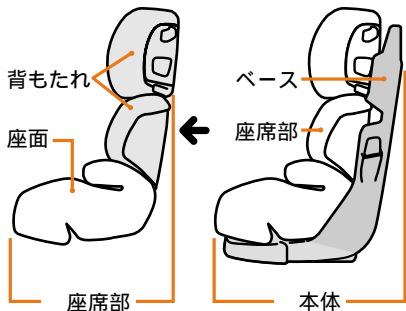
幼児ベルト

肩ベルトカバー

アームレスト

ポケット
本取扱説明書を収納してください。

本書で使われる「本体」「座席部」
「ベース」「背もたれ」「座面」とは、
以下の部分です。

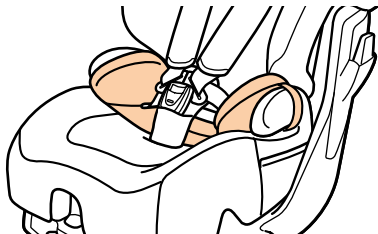


サイドクッション



サイドクッションは、
チャイルドモードの
ときにのみ、お子さまの
体型にあわせて、必要
に応じて任意に使用し
てください。

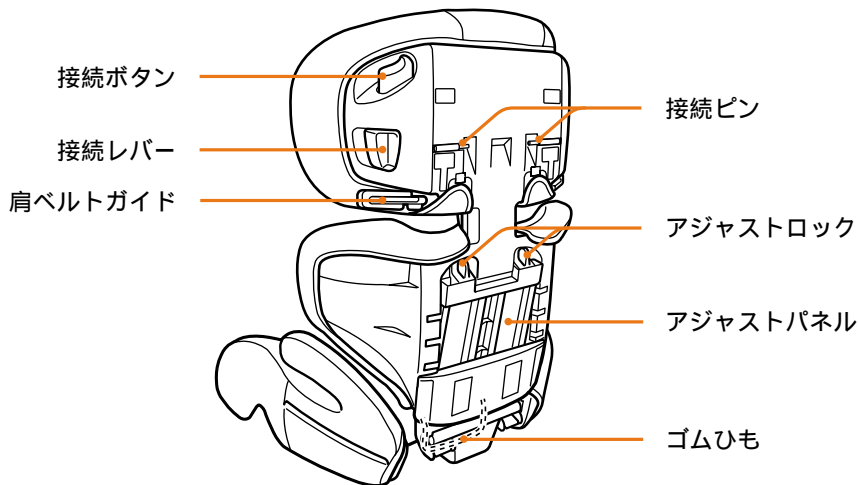
お子さまのおしりの左右にゆとりがある場合
にご使用ください。



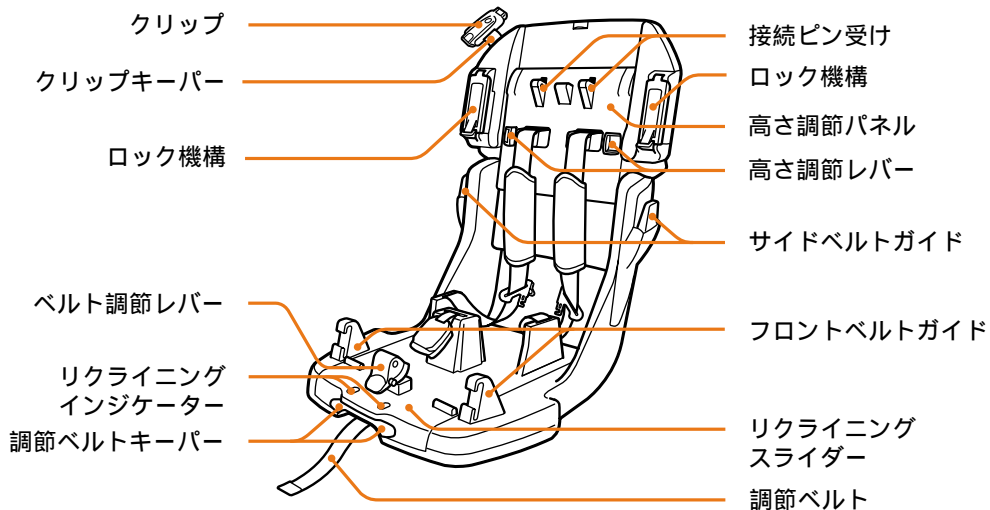
各部のなまえ

座席部 裏側

車に取り付ける前に



ベース



おもな機能と基本操作

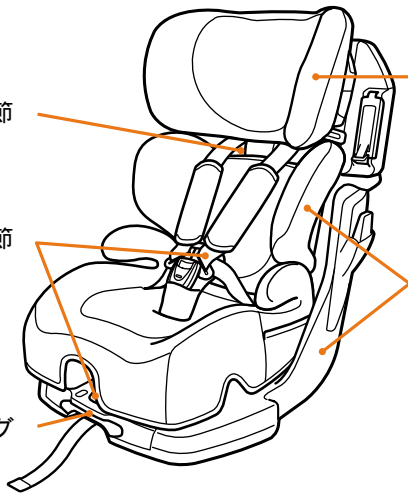
車の座席への取り付けを行う前に、おもな機能について各ページをお読みください。

車に取り付ける前に

幼児ベルトの高さ調節
P 20 ~ 21

幼児ベルトの長さ調節
P 18 ~ 19

リクライニング
P 16



サイドサポート
P 17

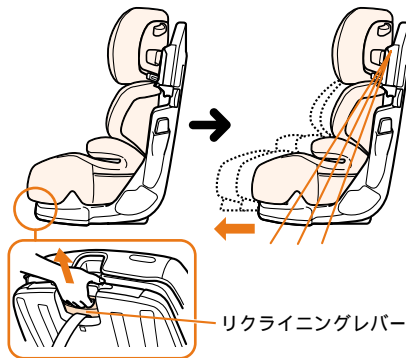
ベースと座席の取りはずし
P 22 ~ P 24

ベースと座席の取り付け
P 25 ~ P 30

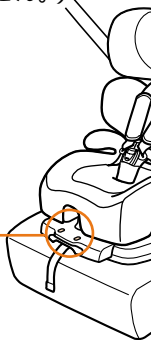
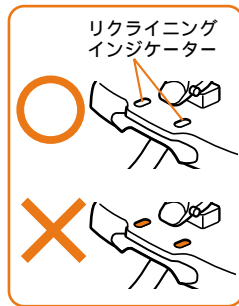
リクライニングの使いかた（チャイルドモード時）

お子さまが眠ったときなどのために、チャイルドシートの背もたれを倒すことができます。

- 1** ベース底面のリクライニングレバーを手前に引きながら、座面を引き出します。（3段階に調節可能）



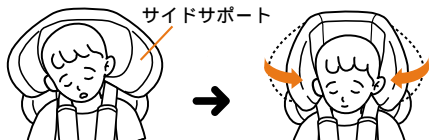
- 2** リクライニングインジケータでリクライニングが固定されていることを確認してください。（赤い表示が見える場合は、固定されていません。）



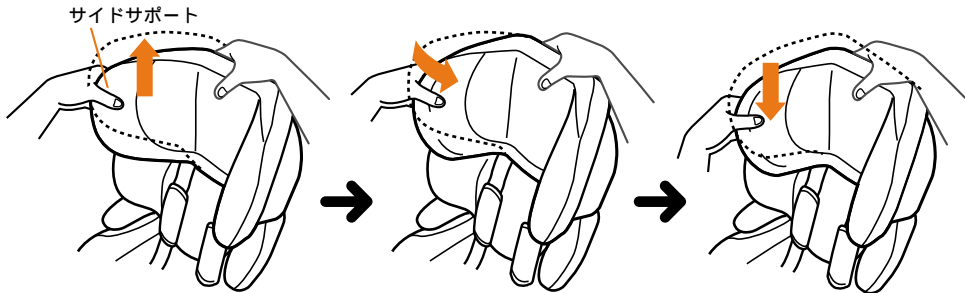
手や指をはさまないように、ご注意ください。
同乗者の手元にも、充分ご注意ください。

サイドサポートの使いかた(チャイルドモード、ジュニアモード時)

お子さまが眠ったときでも、ヘッドレストのサイド部を開閉することで頭部をしっかりホールドできます。



- 1** サイドサポートをにぎり、上に持ち上げます。
- 2** サイドサポートを内側へ倒すように閉じます。
- 3** 内側へ閉じた位置で下へ降ろすと固定されます。

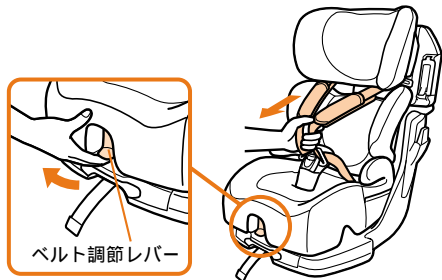


開くときは閉じた手順を逆に行ってください。

幼児ベルトの長さ調節（チャイルドモード時）

幼児ベルトを長くするには

ベルト調節レバーを引き上げながら、左右の幼児ベルトの図の位置を持ってを手前に引きます。



ワンポイント

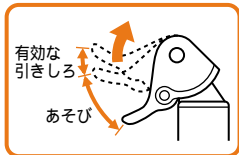


肩ベルトカバーを手前に引いても幼児ベルトは長くなりません。必ず図の位置を引いてください。

ワンポイント

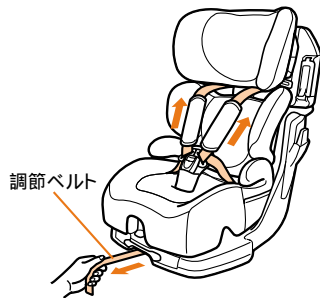


ベルト調節レバーには多少のあそびがあります。最後までレバーを強く引き上げてください。



幼児ベルトを短くするには

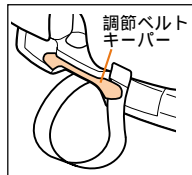
ベースの下の調節ベルトを引きます。



ワンポイント



調節ベルトの残りが長い場合は、ベース先端にある調節ベルトキーパーにとめておくことをおすすめします。

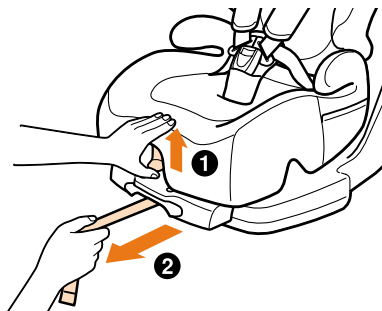
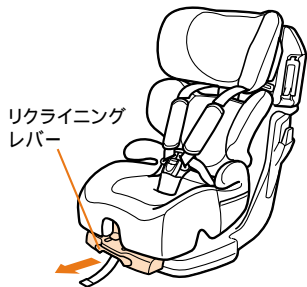


幼児ベルトの長さ調節(チャイルドモード時)

幼児ベルトの長さ調節ができなくなってしまったときは

ベルト調節レバーを引かずに、幼児ベルトを無理に引っばったり、幼児ベルトを最短にした状態で無理にリクライニングを立てようとした場合、幼児ベルトの調節操作が非常にかたくなってしまうことがあります。その場合は次の手順を行ってください。

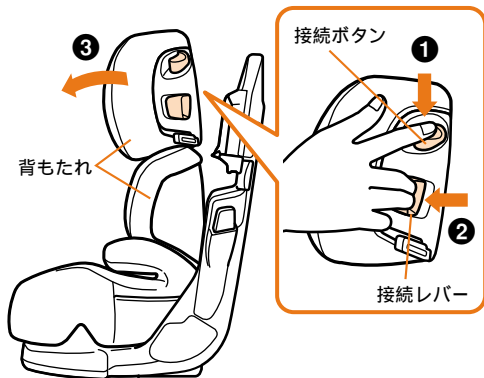
- 1 リクライニングを最も倒した位置にします。
- 2 ①ベルト調節レバーを強く引き上げながら、②調節ベルトを強く引っばってください。



幼児ベルトの高さ調節(チャイルドモード時)

つづく →

- 1 ①左右のサイドサポートの後ろにある接続ボタンを押しながら、② 接続レバーを引き、③ 背もたれを手前に倒します。(左右同時に行ってください。)

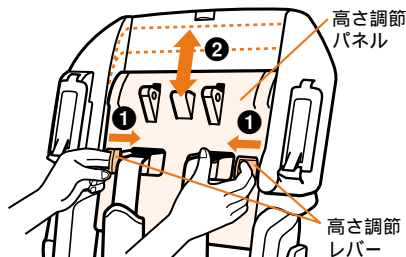


ワンポイント



接続ボタンと接続レバーを操作するときは、サイドサポートを閉じた状態で行うと操作がしやすくなります。

- 2 ①ベースの上部にある左右の高さ調節レバーを、左右同時に内側へスライドさせたまま、② 高さ調節パネルを上下に動かして、幼児ベルトの肩の高さを調節します。(3段階に調節可能)



イラストは見やすくするために、背もたれを省略して表現しています。

⚠
警告

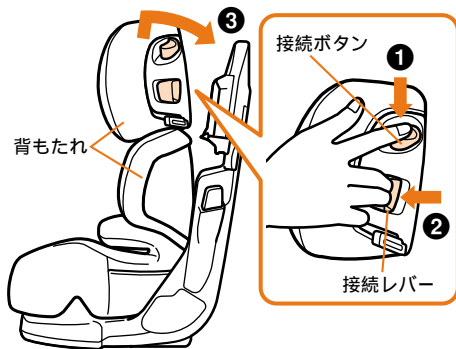
調節後は、左右の高さ調節レバーが固定位置(外側)に戻っていることを必ず確認してください。



車に取り付ける前に

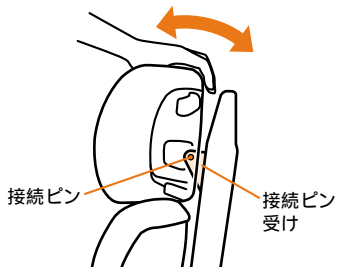
幼児ベルトの高さ調節(チャイルドモード時)

- 3** ①左右のサイドサポートの後ろにある接続ボタンを押しながら、② 接続レバーを引いたまま、③ 高さ調節パネルの高さに合わせて、背もたれをベース部に押し付けて固定します。(左右同時に行ってください。)



ヘッドレストを前後にゆすり、左右の接続ピン受けに接続ピンがささって、ベースと背もたれが確実に固定されていることを確認してください。

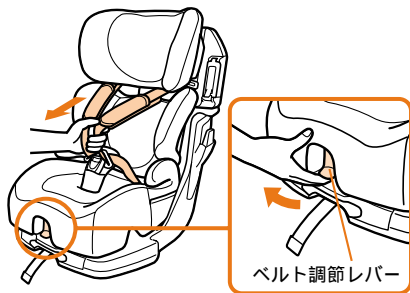
警告



座席部とベースのはずしかた

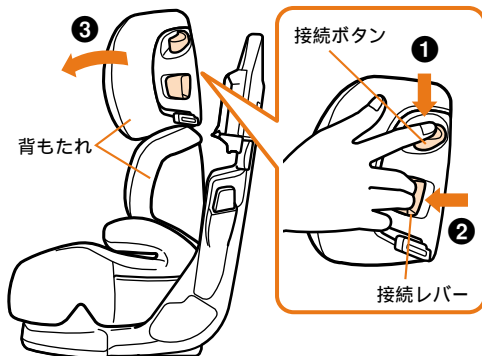
チャイルドモードからジュニアモードにするときや、お手入れのためにシートカバーをはずすときなどには、ベースから座席部をはずします。

- 1** ベルト調節レバーを引き上げながら、左右の幼児ベルトの図の位置を持って手前に引き、幼児ベルトをゆるめます。



ワンポイント 肩ベルトカバーを手前に引いても、幼児ベルトは長くなりません。必ず、図の位置を引いてください。

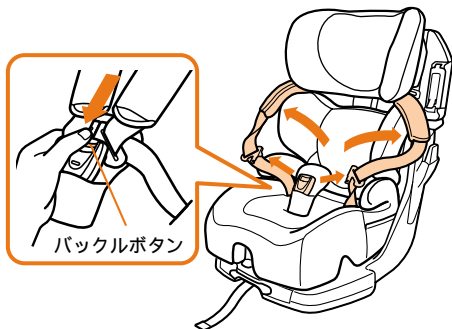
- 2** ①左右のサイドサポートの後ろにある接続ボタンを押しながら、②接続レバーを引き、③背もたれを手前に倒します。



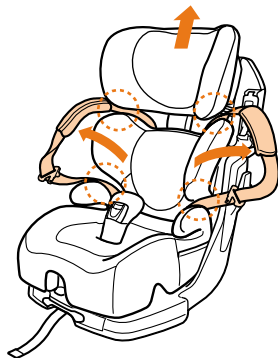
ワンポイント 接続ボタンと接続レバーを操作するときは、サイドサポートを閉じた状態で行うと操作がしやすくなります。

座席部とベースのはずしかた

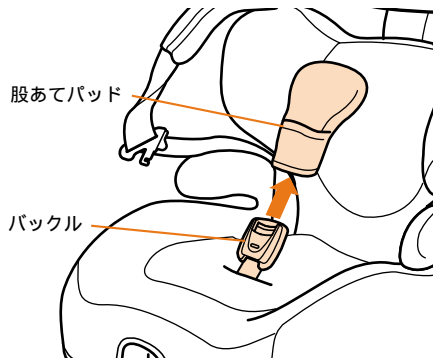
- 3** バックルボタンを押して、差込タンクをはずし、幼児ベルトを座席部側面まで開きます。



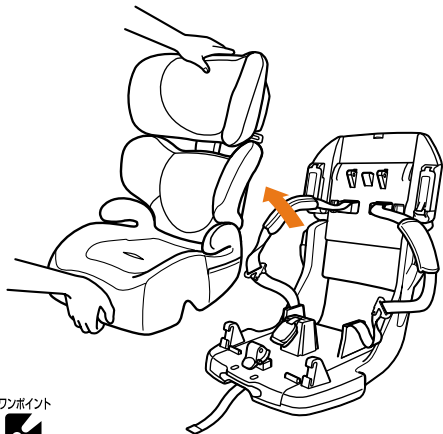
- 4** 背もたれを上方向に持ち上げると、背もたれの腰の部分とアームレストの間にすき間ができます。この状態で幼児ベルトを図のように背もたれの後ろへまわします。



- 5** バックルから股あてパッドをはずします。



- 6** 背もたれと座面を持って、座席部を持ち上げてベースからはずします。



ワンポイント



シートクッションのお手入れをされるときは 60、64
ページ

ベースを分離して取り付けるときは 36ページ

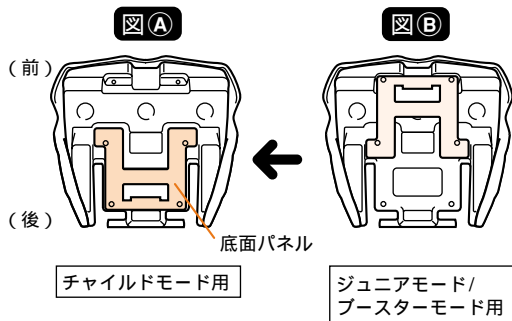
ジュニアモードでご使用になるときは 51ページ

座席部とベースの取り付けかた

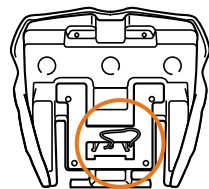
座席部とベースのそれぞれについて、準備を行った上で、取り付けを行います。

座席部の準備

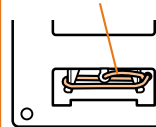
- 1 座面裏側の底面パネルが図Aの位置に取り付けられていることを確かめます。
図Bの場合の場合はいったんはずして、図Aの位置に付けなおします。



ひもは図のように巻き付けてください。

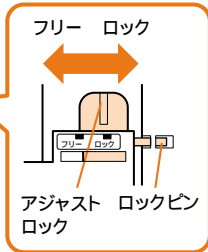
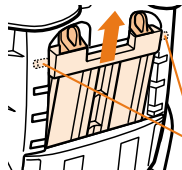
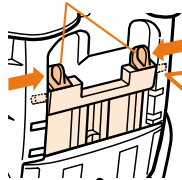


パネル固定用ひも



2 背もたれ裏側のアジャストロックがロック位置の場合は、フリーの位置にします。

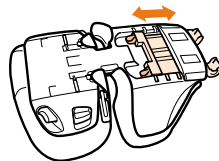
アジャストロック



ロックピン

 注意

背もたれを立てた状態でアジャストロックを「フリー」にすると、背もたれの上部が急に下がりアジャストパネルの間に指を挟むおそれがありますので、操作は背もたれを横にした状態で行ってください。



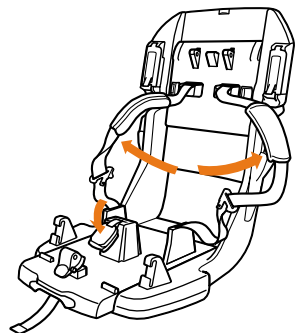
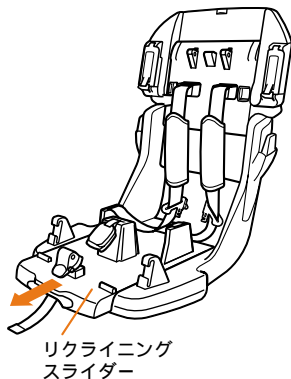
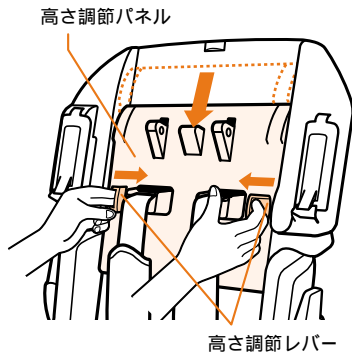
車に取り付ける前に

座席部とベースの取り付けかた

ベースの準備

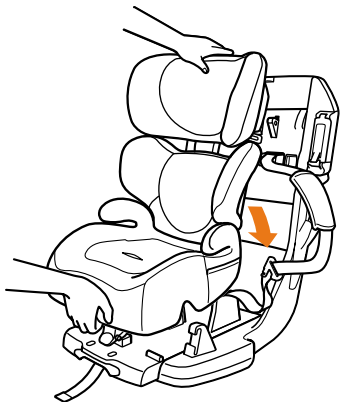
- 1 左右の高さ調節レバーを操作して、幼児ベルトの高さを1番下の位置にします。
- 2 リクライニングレバーを引き、リクライニングスライダーを最も前に出した位置にします。
- 3 幼児ベルトを図のようにベース側面に引っかけます。さらにバックルを手前側に倒します。

車に取り付ける前に

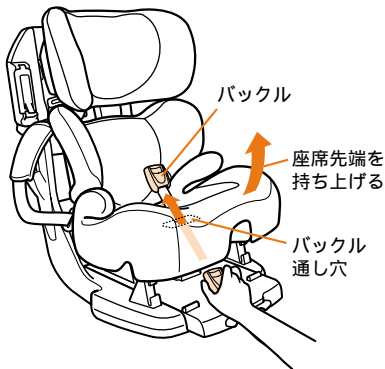


取り付けかた

1 座席部をベースの上にのせます。



2 座面先端を持ち上げて、座面の下側に手を入れて、バックルを座面中央のバックル通し穴から座面を通して上に出します。

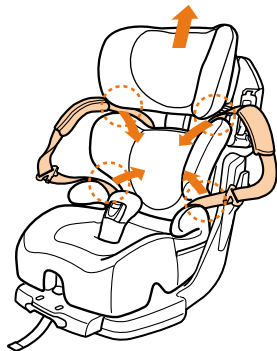


車に取り付ける前に

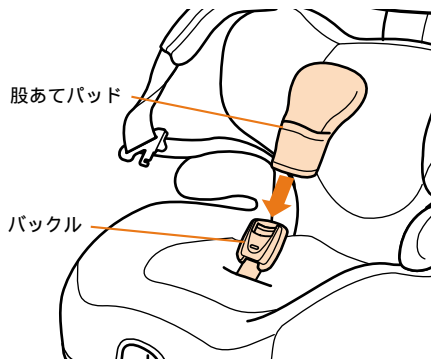
座席部とベースの取り付けかた

取り付けかた(つづき)

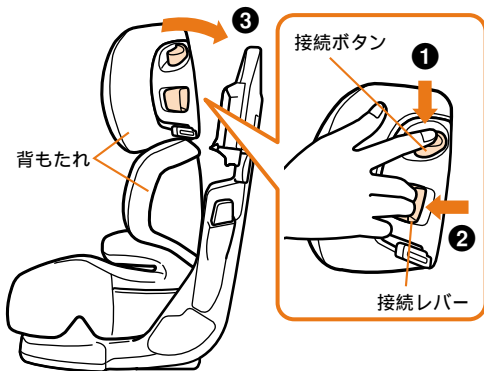
- 3** 背もたれを上方向に持ち上げると、背もたれの腰の部分とアームレストの間にすき間ができます。この状態で幼児ベルトを図のように背もたれの前側に引き出します。



- 4** バックルに股あてパッドを取り付けます。



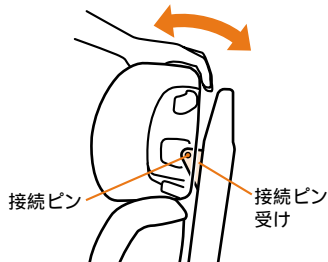
- 5** ①左右のサイドサポートの後ろにある接続ボタンを押しながら、② 接続レバーを引いたまま、背もたれを少し持ち上げるようにして、③ ベース部に押し付けて固定します。(左右同時に行ってください。)



ヘッドレストを前後にゆすり、左右の接続ピン受けに接続ピンがささって、ベースと背もたれが確実に固定されていることを確認してください。



警告

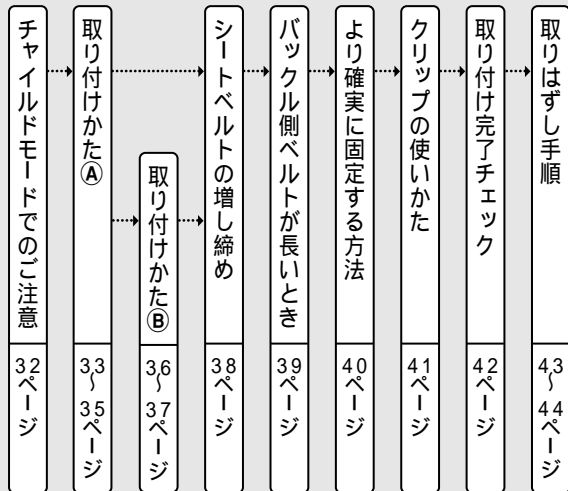


ワンポイント

背もたれをベースに固定するときは、リクライニングを最も起こした位置で行うと固定がしやすくなります。

チャイルドモードの取り扱い手順

車への取り付け



お子さまの着座



チャイルドモードでのご注意

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは4～6ページをご覧ください。



危険

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。

車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のものでも固定しないでください。

エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



警告

車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定してください。

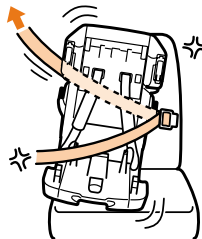
シフトノブやサイドブレーキ操作などの運転に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。

2ドア・3ドア車で後座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。



注意

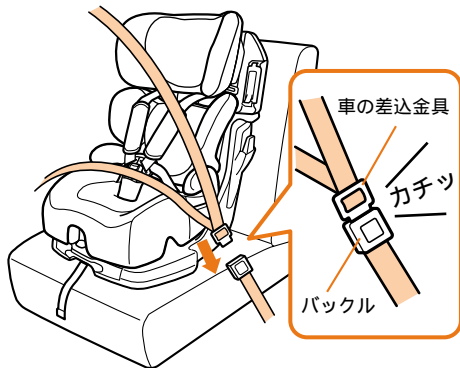
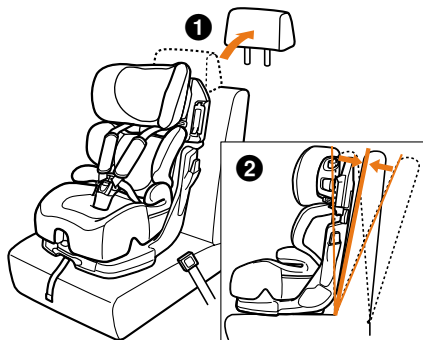
チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、チャイルドシートの取りはずし手順を誤って行った場合に、車からの取りはずしが困難になる可能性があります。取りはずしは、必ず取りはずし手順に従って行ってください。



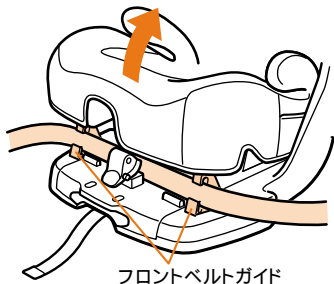
取り付けかた **A**

ベースと座席を一体で取り付けの方法(標準的方法)

- 1** ①車の座席のヘッドレストを取りはずせる場合は取りはずし、車の座席にチャイルドシートを置きます。②車の座席がリクライニングできる場合はベースの角度に近い角度に調節します。
- 2** シートベルトを引き出し、差込金具をバックルに差し込みます。



- 3** 座面の先端を持ち上げ、シートベルトを2カ所のフロントベルトガイドにかけます。



ワンポイント

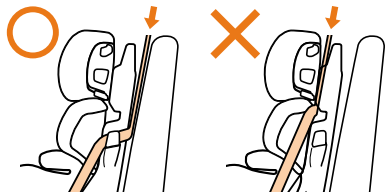
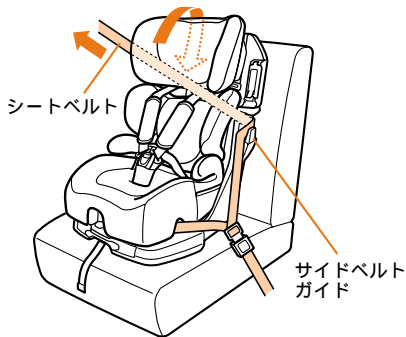


座面の先端を持ち上げると、『カチッ』と音がして、上がったままで止めておくことができます。

手順3、4は、車種によってはシートベルトの長さが短く、作業中にチャイルドシート固定機能(ALR機能)が作動してしまい、取り付けが困難な場合があります。その場合は36ページの「取り付けかた[®]」をご覧ください。

36ページへ

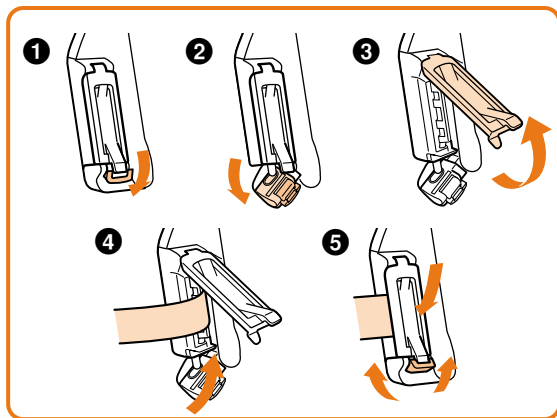
- 4** シートベルトをベースの後側にまわし、サイドベルトガイドにかけます。



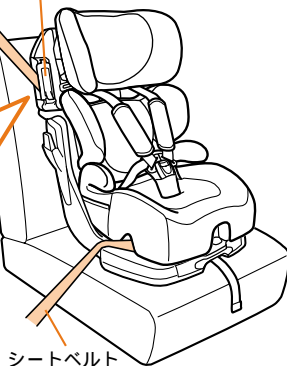
取り付けかた ①A

- 5 シートベルトにねじれがないことを確認し、シートベルトの巻き取り口側のロック機構にシートベルトをはさみます。

ロック機構の操作手順



ロック機構



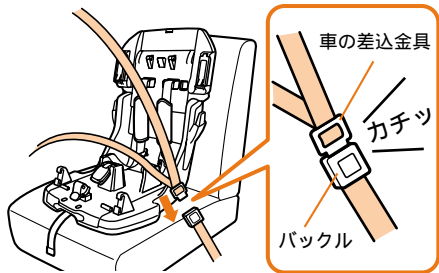
シートベルト

取り付けかた ②

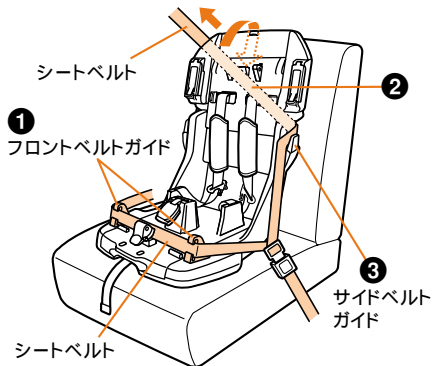


ベースと座席を別々に取り付ける方法(シートベルトが短い場合など)

- 1 33ページの「取り付けかた①」の手順「1」を行います。
- 2 ベースから座席部を取りはずします。
(「座席部とベースのはずしかた」22ページ参照)
- 3 シートベルトを引き出し、車の差込金具をバックルに差し込みます。



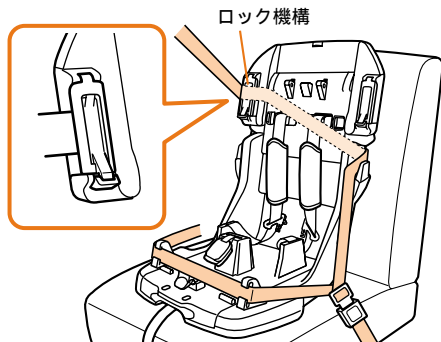
- 4 シートベルトを①フロントベルトガイド2カ所につけ、②ベースの後側にまわし、③サイドベルトガイドにつけます。



チャイルドモードの使いかた

取り付けかた②

- 5 シートベルトにねじれがないことを確認し、シートベルトの巻き取り口側のロック機構にはさみます。
(ロック機構の操作手順は、「取り付けかた①」の手順 5」35ページ参照)



- 6 ベースに座席部を取り付けます。
(「座席部とベースの取り付けかた」25ページ参照)



38ページに進む



警告

座席部を取り付け終わったら必ずヘッドレストを前後にゆすり、ベースと背もたれが確実に固定されていることを確認してください。



シートベルトの増し締め

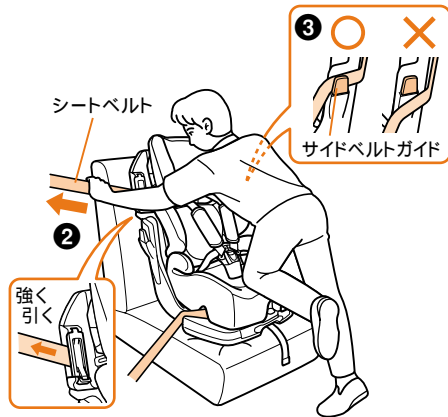


注意 しっかり取り付けるために必ず行ってください。

- 1 座面にひざを乗せて体重をかけ、車の座席にチャイルドシートを沈み込ませます。
- 2 そのままの状態でも①の部分のシートベルトを矢印の方向へ引きます。



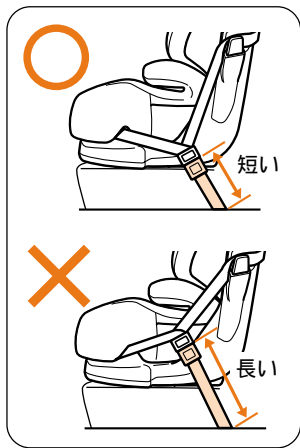
- 3 体重をかけたまま、②の部分のシートベルトを矢印の方向へ強く引きます。この際、③のサイドベルトガイドからシートベルトがはずれないように注意してください。



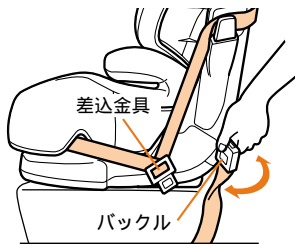
チャイルドモードの使いかた

バックル側ベルトが長いとき

バックル付け根のベルトが長く、しっかり固定できない場合は次の手順を行ってください。




1 差込金具をはずしてバックルを持ち、1～3回ひねりを加えて短くします。



2 もう1度差込金具をバックルに差し込み、固定します。



ツボポイント  バックルの付け根のベルトに1～3回ひねりを加えてもしっかり固定できない場合は、当社専用のフィットマット(別売)をご使用ください。



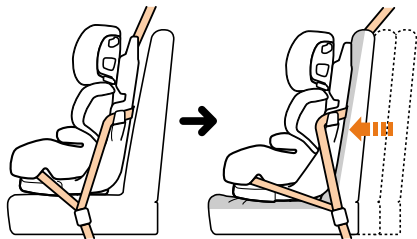
警告

ひねりを加えてもしっかり取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

より確実に固定する方法

車の座席が前後にスライドする場合

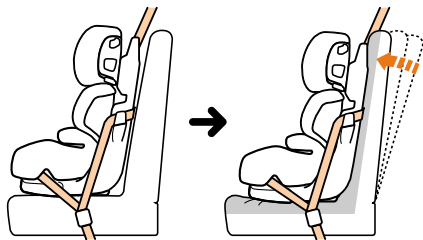
車の座席を最も後ろにさげた位置で取り付けを行い、その後で座席を1～2段程度前へスライドさせます。



シートベルトの取り付け部が座席とともにスライドするタイプの場合は、効果が得られません。

車の座席がリクライニングする場合

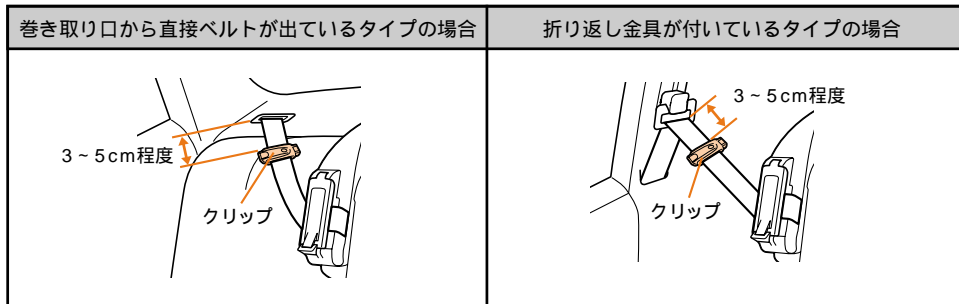
取り付けた後でリクライニングを1～2段程度おこします。



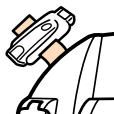
チャイルドモードの使いかた

クリップの使いかた

シートベルトの増し締めが終わったら、シートベルトの巻き取り口から3～5cm程度離れた場所に、クリップをとめてください。

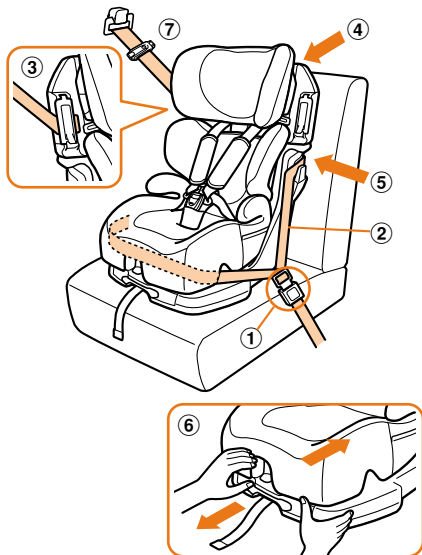


ワンポイント ジュニアモード/ブースターモードで、クリップを使用しないときは、クリップキーパーにとめ、なくさないようにしてください。



取り付け完了チェック

取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されているか、次のことを確認してください。



- ① 車のシートベルトの差込金具が、しっかりバックルに差し込まれていること。
- ② 車のシートベルトに、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ③ シートベルトの巻き取り口側のロック機構に、シートベルトがはさみ込まれていること。
- ④ ベースの後側にベルトが通っていること。
- ⑤ ベースのサイドベルトガイドにシートベルトがかかっていること。
- ⑥ ベースの下の部分を前後にゆすっても大きく動かないこと。
- ⑦ シートベルトの巻き取り口のそばにクリップがとまっていること。

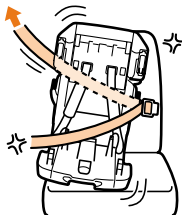


これらの項目をチェックし、しっかり固定できていない場合は車のシートベルトを締め直すなど再調節してください。それでもしっかり固定できない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

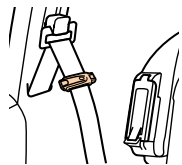
取りはずし手順

⚠ 注意

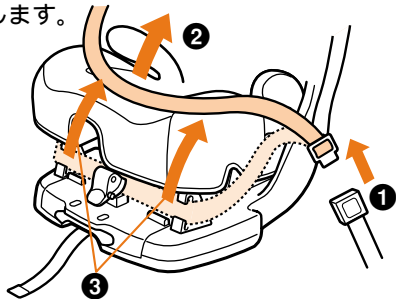
チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、チャイルドシートの取りはずし手順を誤って行った場合に、車からの取りはずしが困難になる可能性があります。取りはずしは、必ず取りはずし手順に従って行ってください。



車から取りはずせなくなることを防ぐために、シートベルトに付けたクリップは、チャイルドシート本体からシートベルトをはずすまでは取りはずさないでください。

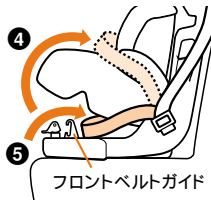


- 1 ①シートベルトのバックルをはずし、②座面の先端を持ち上げて、③フロントベルトガイドからシートベルトをはずします。



ワンポイント

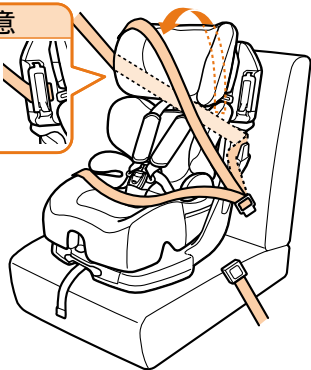
手順 1 (④の矢印)のようにシートベルトをはずせない場合は、フロントベルトガイドからはずしたシートベルトをいったん⑤の矢印の位置に置き、手順 2へ進んでください。



- 2 ベースの後側にまわしてあったシートベルトを本体の手前側に戻します。

⚠ 注意

このときロック機構は、まだはずさないでください。

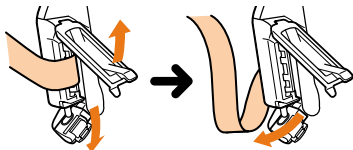


ワンポイント



手順「1」で⑤の位置にシートベルトを置いていた場合は、手順「2」の後でシートベルトを座面の上へまわします。

- 3 ロック機構を開き、下側のすき間からシートベルトを抜き取ります。

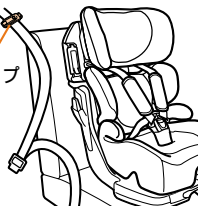


- 4 チャイルドシート本体からシートベルトがはずれていることを確認し、クリップを取りはずします。



⑥ クリップキーパー

クリップ



ワンポイント



取りはずしたクリップは、なくさないようにベースのクリップキーパーに付けておいてください。(⑥の図参照)

お子さまの座らせかた

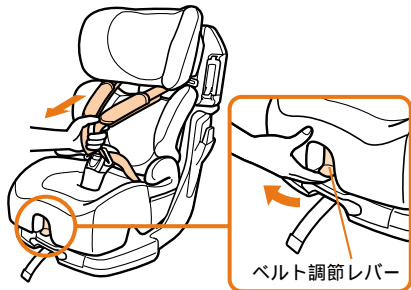
お子さまを座らせる際は、幼児ベルトの高さや長さを調節する必要があります。



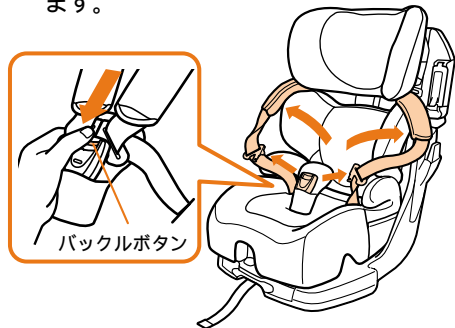
お子さまを乗せるときには、右図のような乗せかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
極端な厚着のままで乗せないでください。



- 1** ベルト調節レバーを引き上げながら、左右の幼児ベルトの図の位置を持って手前に引き、幼児ベルトをゆるめます。



- 2** バックルボタンを押して差込タングをはずし、幼児ベルトを図のように広げます。



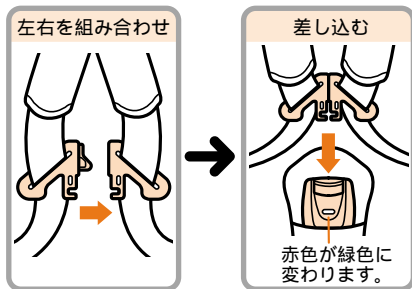
- 3 お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通します。

左右の幼児ベルトが
ねじれていないこと



- 4 左右の差込タングを組み合わせてから『カチッ』と音がするまで、バックルに差し込みます。

差込表示が「緑色」に変わっていることを確認してください。



左右の差込タングが、完全にバックルに差し込まれて表示が緑色になっていないと、衝突時に子供が飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するなどのおそれがあります。

お子さまの座らせかた

- 5 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。

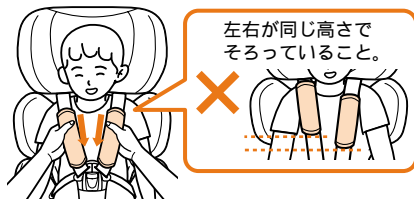


ワンポイント



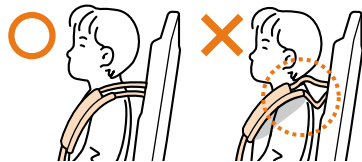
お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。バックルボタンは、お子さまの力では、はずれにくいように固くなっています。

- 6 肩ベルトカバー部にたるみが生じないように、左右の肩ベルトカバー部をバックルの方向に引き下げて、お子さまの肩にフィットさせます。



お子さまの肩と幼児ベルトの間にすき間がないように、また、肩ベルトカバー部にたるみがないようにご注意ください。

警告



幼児ベルトの高さ調節

お子さまを座らせ、幼児ベルトの肩の位置が、お子さまの肩のすぐ上になるように背もたれの高さを調節してください。(工場出荷時は一番下になっています。)

幼児ベルトは、着座したお子さまのすぐ上の位置にしてください。

肩ベルトガイドの高さがお子さまの体に合っていないと、衝撃が加わったときに肩からはずれ、お子さまを正しく保持できません。

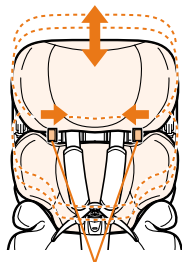
警告



1 お子さまをチャイルドシートに座らせ、幼児ベルトの位置を確かめます。

2 高さが合っていない場合は、いったんお子さまを降ろして位置を変えます。

(「幼児ベルトの高さ調節」20ページ参照)



高さ調節レバー

上段・中断・下段の3段階に調節できます

警告

調節後は、左右の高さ調節レバーが固定位置(外側)に戻っていることを必ず確認してください。



高さ調節レバー

チャイルドモードの使いかた

幼児ベルトの長さ調節

お子さまの乗せおろしの際は、毎回幼児ベルトの長さを調節してください。

使用中の適切な長さは、お子さまと幼児ベルトの間に、**大人の手のひらが入るくらいが目安です。**



必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

幼児ベルトを短くするには（お子さまを乗せ終わったら）

ベースの下の調節ベルトを引きます。



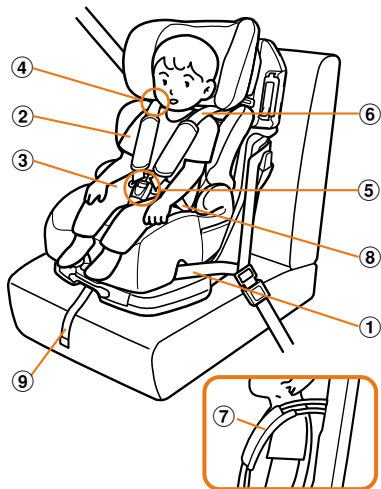
幼児ベルトを長くするには（お子さまをおろすときは）

ベルト調節レバーを引きながら、左右の幼児ベルトを手前に引きます。



座らせた後のチェック

お子さまを座らせ終わったら、毎回次のことを確認してください。



- ① お子さまの体重が加わっても、車のシートベルトにゆるみがないこと。
- ② 極端な厚着をしていないこと。
- ③ 正しい姿勢で深く座っていること。
- ④ 幼児ベルトの肩の高さが、正しい位置であること。
- ⑤ 左右の差込タンクがバックルに差し込まれていて、差込表示が緑色になっていること。
- ⑥ 幼児ベルトにねじれがないこと。
- ⑦ 幼児ベルトの肩の部分が、お子さまの肩にフィットしていること。
- ⑧ 幼児ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑨ 幼児ベルトの長さが適切に調節されていること。



これらの項目をチェックし、正しく着座できていない場合は45～49ページの手順の必要なステップをもう一度くり返してください。

ジュニアモードでのご注意

車の座席の形状などにより、使用できない場合があります。詳しくは4～6ページをご覧ください。

⚠ 危険

必ず3点式シートベルトで使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

エアバッグが装着された座席では使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

⚠ 警告

チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合は、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(6、8ページをご覧ください。)

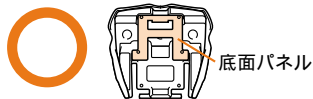
シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

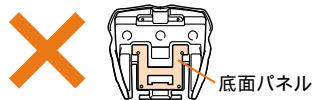
2ドア・3ドア車で後座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席には取り付けないでください。

⚠ 警告

座面裏側の底面パネルを必ず下図の正しい位置に取り付けてください。誤った取り付け位置に取り付けられていると、本体の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



ジュニアモード/
ブースターモード用の位置



チャイルドモード用の位置

肩ベルトガイドの高さ調節

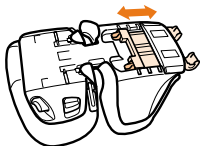
お子さまの体格にあわせて、背もたれの高さを調節し、肩ベルトガイドの高さを適切な高さにしてください。

肩ベルトガイドの高さ調節のしかた

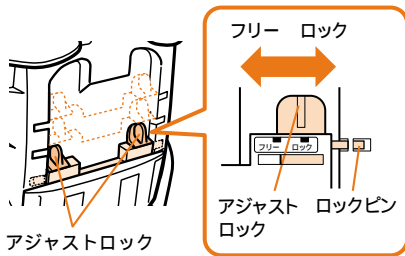
肩ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



背もたれを立てた状態でアジャストロックを「フリー」にすると、背もたれの上部が急に下がりアジャストパネルの間に指を挟むおそれがありますので、操作は背もたれを横にした状態で行ってください。



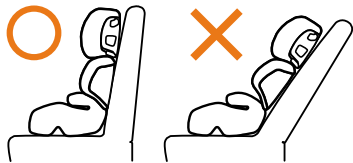
- 1 背もたれ裏側の左右のアジャストロックを「フリー」の位置にし、背もたれの高さを調節します。調節後、「ロック」の位置に戻して固定します。



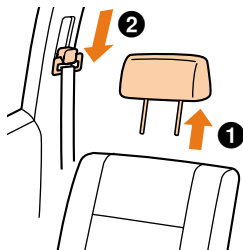
お子さまを座らせる前の準備

⚠
警告

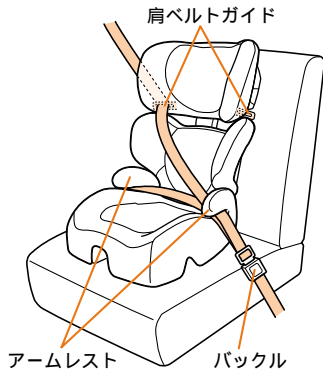
車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。
極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの身体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあります。



- 1** ① 座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、
② シートベルトの肩の高さが調節できる場合は下げておきます。



- 2** チャイルドシートを車の座席に置き、シートベルトを引き出して、図のように肩ベルトガイドとアームレストの下に通し、バックルに差し込みます。

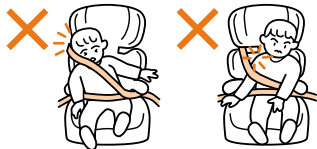


お子さまを座らせていないときは、常にこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまが次のような座りかたをしていると、本来の機能を果たさず危険です。

お子さまが体を左右どちらかに極端に傾けて座っている。



中腰・正座・立てひざなどをしている。
お子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずり落ちたりするおそれがあります。
必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。

⚠️
警告

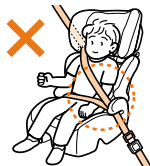
⚠️
注意

背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。注意してください。

- 1 バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して図のようにバックルに差し込みます。



お子さまのうでは、必ずシートベルトの上になるようにしてください。

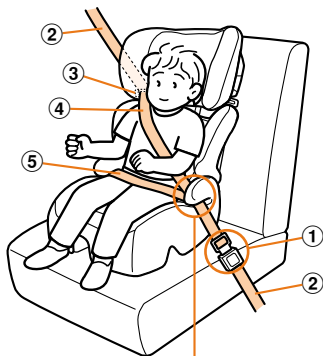


⚠️
警告

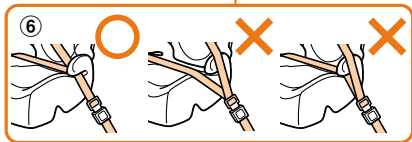
ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードの完了チェック

お子さまを座らせシートベルトを締めたら、毎回次のことを確認してください。



- ① シートベルトの差込金具が、しっかりバックルに差し込まれていること。
- ② シートベルトに、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ③ シートベルトが肩ベルトガイドを通っていること。
- ④ シートベルトがお子さまの肩からはずれたり、首に当たったりしていないこと。
- ⑤ シートベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑥ シートベルトがアームレストの下を通っていること。



警告

これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、52～54ページの手順の必要なステップをもう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

ブースターモードでのご注意

車の座席の形状などにより、使用できない場合があります。詳しくは4～6ページをご覧ください。



危険

必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。



警告

チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合は、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(6、8ページをご覧ください。)

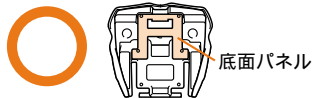
シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

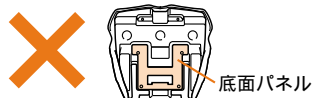


警告

座面裏側の底面パネルを必ず下図の正しい位置に取り付けてください。誤った取り付け位置に取り付けられていると、本体の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



ジュニアモード/
ブースターモード用の位置



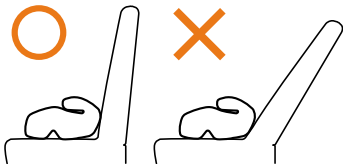
チャイルドモード用の位置

お子さまを座らせる前の準備



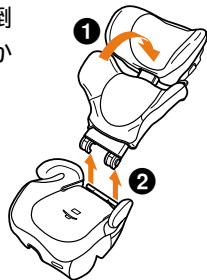
警告

車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの身体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあります。



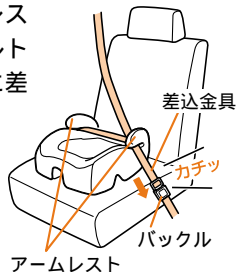
- 1** 車の座席のヘッドレストを取りはずしている場合は取り付けます。

- 2** ①背もたれを後ろに倒し、②ジョイント部からはずします。



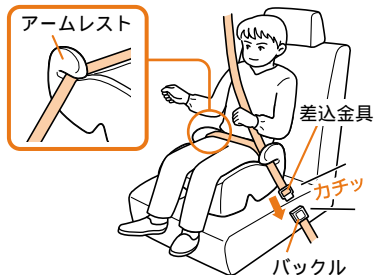
- 3** 図のようにアームレストの下にシートベルトを通し、バックルに差し込みます。

お子さまを座らせていないときは、常にこの状態にしておいてください。

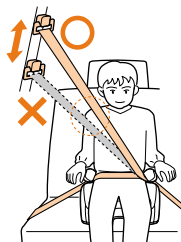


お子さまの座らせかた

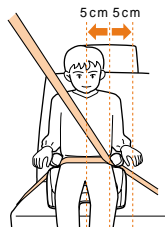
- 1 バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、シートベルトを引き出して図のようにバックルに差し込みます。



- 2 シートベルトの肩の高さが調節できる場合は、お子さまの肩にかかるように調節します。



- 3 シートベルトがお子さまの肩にかからない場合は、左右に5cm程度の範囲で移動することにより調節することができます。

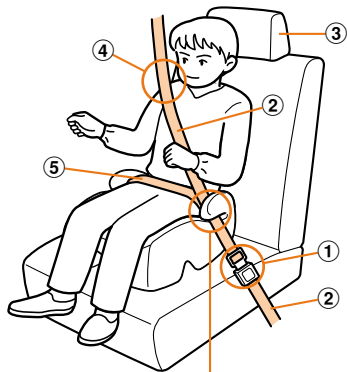


お子さまのうでは、必ずシートベルトの上になるようにしてください。



ブースターモードの完了チェック

お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、毎回次のことを確認してください。



- ① シートベルトの差込金具が、しっかりバックルに差し込まれていること。
- ② シートベルトが体に密着していて、たるみ、なじれがないこと。
- ③ 車のヘッドレストがはずされていないこと。
- ④ シートベルトがお子さまの肩からはずれたり、首に当たったりしていないこと。
- ⑤ シートベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑥ シートベルトがアームレストの下を通っていること。



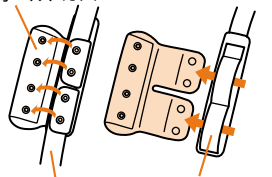
警告

これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、57～58ページの手順の必要なステップをもう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

シートクッションのはずしかた

- ① ラバーパッドから肩ベルトカバーをはずします。

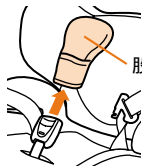
肩ベルトカバー



幼児ベルト

ラバーパッド

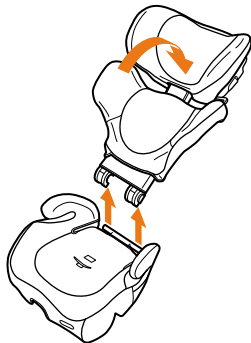
- ② 股あてパッドをはずします。



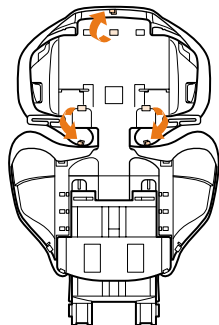
股あてパッド

- ③ ベースから座席部をはずします。(「座席部とベースのはずしかた」22ページ参照)

- ④ 座面から背もたれをはずします。(「お子さまを座らせる前の準備」57ページ参照)



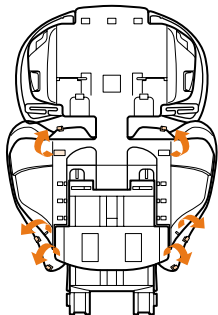
- ⑤ ヘッドレスト裏面の3つのフックをはずし、クッションをはずします。



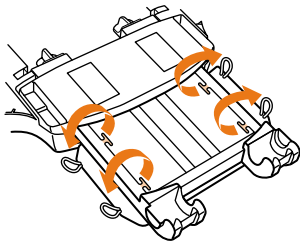
お手入れのしかた

シートクッションのはずしかた(つづき)

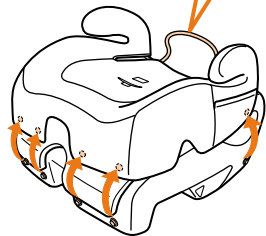
- ⑥ 背もたれ裏面の6つのフック
をはずし、クッションをはずします。



- ⑦ 背もたれのアジャストパネルのクッションを図のよう
にはずします。

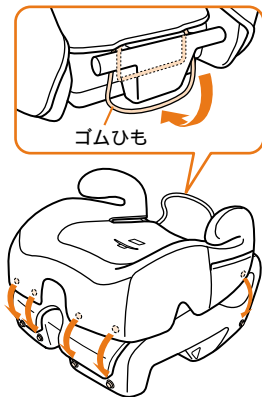


- ⑧ 座面の6つのフックをはずし、ゴムひもをはずして座面のクッションをはずします。

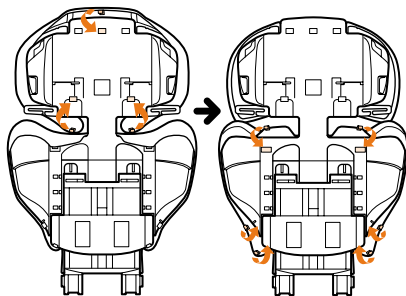


シートクッションの取り付けかた

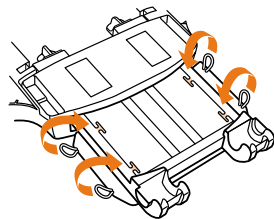
- ① 座面にクッションをかぶせ、ゴムひもと6つのフックをとめます。



- ② ヘッドレストと背もたれのクッションをかぶせ、それぞれのフックをとめます。



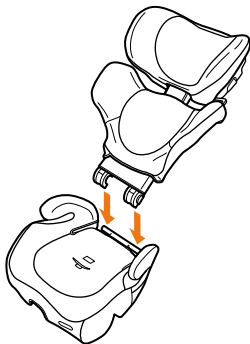
- ③ 背もたれのアジャストパネルの4つのフックにクッションをとめます。



お手入れのしかた

シートクッションの取り付けかた(つづき)

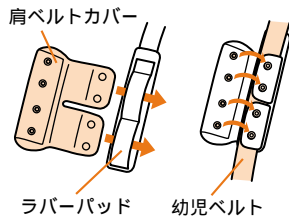
- ④ 座面と背もたれを取り付けます。



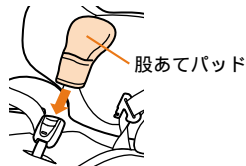
- ⑤ ベースに座席部を取り付けます。(「座席部とベースの取り付けかた」25ページ参照)



- ⑥ ラバーパッドに肩ベルトカバーを通し、幼児ベルトをおおうようにしてホックをとめます。






- ⑦ バックルに股あてパッドを取り付けます。



シートクッション、肩ベルトカバーの洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干してください。

蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

保管のしかた

取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みの上、座席部側面のポケットに保管してください。

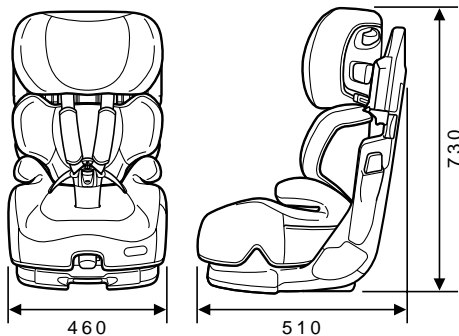
本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

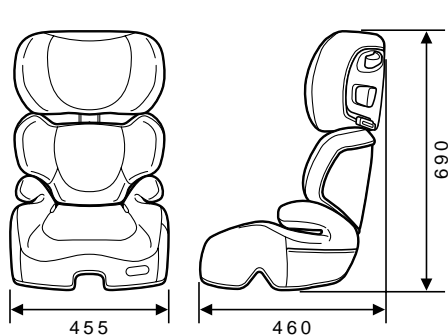
製品仕様

製品サイズ

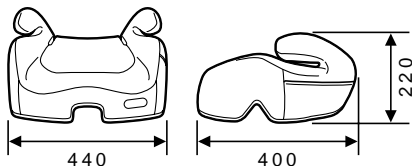
チャイルドモード



ジュニアモード



ブースターモード



製品質量 : ベース...11.7kg

座席部 (ジュニアモード)...4.6kg

座面 (ブースターモード)...2.2kg

材質 : 本体...ポリプロピレン、ポリスチレン
シートクッション

表生地...ポリエステル

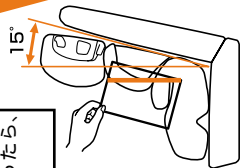
クッション材...ウレタン

角度チェッカー

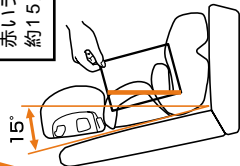
ジュニアモードおよびブースターモードで車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。ブースターモードのときは、車の背もたれを直接チェックしてください。

車に直接取り付けるときは、この角度を目安にしてください。

ジュニアモードまたはブースターモードで車に取り付けたときは、この角度を目安にしてください。



赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468

〈ホームページ上でのお問い合わせ〉 http://www.combi.co.jp/soudan/faq_baby.htm

コンビ
ブオン
キッズEG

Combi

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>